

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす [ファイン・ファイネット]

FINE FINET

[Finet Top Message]

社長就任にあたって

株式会社ファイネット

代表取締役社長

細見 典男

2012年度 ファイネットユーザー会を開催

ファイネット ヘルプデスク便り

[Finet Information]

全銀協TCP/IP手順への移行状況! (最終報告)



Vol. 24
2012 Summer
ファイネット発行

社長就任にあたって

株式会社ファイネットは、2012年6月13日（水）に開催された株主総会におきまして、前社長の山口範雄が退任し、細見典男が新たに代表取締役社長として就任いたしました。今号では、細見典男新社長による就任の挨拶をご紹介します。



株式会社ファイネットの社長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

弊社の創立は、1986年4月に冷凍食品メーカーを中心とする8社が、冷凍食品業界VAN（付加価値情報ネットワーク）を提供する会社として発足いたしました。

その当時、時代の趨勢はシステム化・オンライン化に向かっており、企業間データ交換への対応が重要であることは認識されてはいましたが、投資費用やシステム移行の問題、商売の慣習を変えることなど多くのリスクが存在しており、なかなか食品業界VAN設立に踏み切れないのが現状でした。

そのなかで、市場で競争・競合している食品会社同士が一緒になって、統一理念の下で共有情報インフラであるファイネットを設立できたのは、まさに先達たちの信念の強さであり、先見の明でもあります。

特に設立理念でもある「競争は店頭で インフラは共有で」を旗印に、幾つもの試練を乗り越え、今日のファイネットが存在しております。

現在では、酒類・加工食品業界の約1,800社が会員企業として参加していただき、業界の標準VANとしてメーカー・卸店間の商取引を中心に企業間データ交換に広く活用していただいております。これもひとえに参加企業の皆様のご支援の賜物であり、この場をお借りし心より御礼申し上げます。

今後は、この共有情報インフラとしての役割をさらに強固にするために、消費財業界全体の動きにも目を配り、参加企業様のニーズを把握しながら、普及推進を実践してまいります。また、より安全で安心で安価なデータ交換サービスを提供すべく、必要なシステム開発投資を行い、情報セキュリティ体制ならびに運用管理体制のさらなる強化に取り組めます。

さらに、酒類・加工食品業界の企業とともに取り組んでいる標準化推進会議についても、引き続き会議運営母体として活動を進めてまいります。

これからも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2012年7月

株式会社ファイネット

代表取締役社長

細見 典男

2012年度ファイネットユーザー会を開催

2012年度のファイネットユーザー会を、6月7日（木）に東京のロイヤルパークホテルにて開催いたしました。当日は128社・260名の皆様にご参加いただきました。

弊社前代表取締役社長・山口範雄の挨拶で始まり、第1部はファイネット2011年度事業概況と2012年度事業計画についての報告を行うとともに、「食品表示一元化の動向」をテーマに消費者庁食品表示一元化検討会座長の池戸重信様にご講演いただきました。

第2部は懇親会とし、ユーザー様間での交誼を大いに深めていただき、ユーザー様を代表して（株）日本アクセス・八代幸雄様の中締めにて盛況のうちに無事終了いたしました。



会場の様子



事業説明をする仲小路専務取締役



八代幸雄様による中締め

●山口前社長よりご挨拶

6月13日（水）の株主総会を持ちまして弊社代表取締役社長を退任いたしました。4年の在任期間中におきましては、皆様の常日頃のご支援、ご協力に対しまして、この場を借りて心より御礼申し上げます。



山口範雄前社長

2011年度 事業報告（主な取り組み）

《商品流通 VAN》

料金改定 11年10月～
平均約6%の料金改定実施

FAX変換 12年4月～
菓子統一伝票形式追加（発注）

WebEDI 12年4月～
販売実績・販促金データ種追加

《商品情報サービス》

FDB 11年11月～
チェック機能強化・項目追加

中期計画に沿って着実に取り組みを推進

《セキュリティ・運用面》

手続きサイト 12年3月～
機能追加・システム刷新

社内OA 12年3月～
サーバー更改、PCシンクライアント化

災害訓練 11年10月
アクセスポイント切替訓練 [ユーザー132社]

《標準化推進活動》

- ◆ 「酒類・加工食品業界標準化推進会議」を推進
 - ・ GTIN-EDIに関連したガイドライン（3種類）を当社、日食協ホームページに掲載
- ◆ 【品質230】品質情報標準項目（加工食品）の実用化推進
 - ・ 「【品質230】実用化推進会議」を発足（2011年11月）～小売5社/卸6社/メーカー15社が参画
 - ・ GCIジャパン ホームページに標準項目、標準EXCELフォームのダウンロード機能を追加

《環境変化に対応した課題の検討》

- ◆ インターネット通信手順への対応
- ◆ 取引先コードの標準化
- ◆ グローバル展開の可能性
- ◆ IFRS対応
- ◆ 商品情報授受（品質系情報提供サービス等の具体化）
- ◆ 菓子業界商品情報

2012年度 事業計画（主な取り組み）

《商品流通VAN》

- ◆販売促進金EDI普及推進～WebEDI（メーカー向け）販促金データ送受信機能の利用拡大
- ◆FAX変換サービス普及推進～メーカー向け出荷案内書出力サービスの利用拡大

《商品情報サービス（FDB）》

- ◆業務用卸店合同普及活動～業務用メーカーを中心とする加入・登録推進
- ◆情報充足率・精度の向上～登録不備フォロー体制、システムチェックの強化

《セキュリティ・運用面》

- ◆ナビダイヤル機能の新設（2012年6月～）～アクセスポイントの災害耐性向上（通信障害時に当社側設定変更により他ルートに迂回して通信）
- ◆新たなVAN基盤への移行（2013年1月）～信頼性向上、新たな情報通信技術への対応
- ◆インターネット通信手順への対応（2013年3月）～①AS2/②ebXML MS/③JX（SOAP-RPC）

《新サービス》

- ◆販売促進金請求書PDF変換サービス～卸店における販売促進金請求業務の効率化

《標準化推進活動》

- ◆「酒類・加工食品業界標準化推進会議」
～「GTIN-EDI普及検討部会」（継続）、「日食協フォーマット個別対応標準化検討部会」（新規）、「企業識別（取引先）コード研究会」（新規）の2検討部会・1研究会で活動
- ◆「【品質230】実用化推進会議」
～有志企業による具体的な実用化推進（活用事例作り）、業務用卸参画による外食業界への取り組み拡大

●講演内容

講演者 消費者庁食品表示一元化検討会座長 池戸重信様

タイトル「食品表示一元化の動向」

- 内容 1. 食品表示の本来の機能と制度の変遷 2. 表示制度に関する法的位置づけ
3. 消費者庁における「食品表示一元化検討会」の設置と検討経過
4. 食品表示に対する消費者の意識調査結果 5. 新たな食品表示制度の方向について

一元化後の法体系のイメージ（案）

○食品表示に関して「食品一般」を対象としている法律

| 食品衛生法 | JAS法 | 健康増進法 |
|---|--|--|
| 目的 飲食に起因する衛生上の危害を防止し、国民の健康の保護を図る | 目的 農林物資の品質の改善、生産の合理化、取引の単純公正化及び使用又は消費の合理化を図るとともに、農林物資の品質に関する適正な表示を行わせることによって一般消費者の選択に資する | 目的 国民の栄養の改善その他の国民の健康の増進を図るための措置を講ずることにより、国民保健の向上を図る |
| ○ 販売の用に供する食品等に関する表示についての基準の策定及び当該基準の遵守（第19条） 等 | ○ 製造業者が守るべき表示基準の策定（第19条の13） ○ 品質に関する表示の基準の遵守（第19条の13の2） 等 | ○ 特別用途表示の許可（第26条） ○ 栄養表示基準の策定及び当該基準の遵守（第31条、第31条の2） 等 |
| ○ 食品、添加物、容器包装等の規格基準の策定、規格基準に適合しない食品等の販売禁止等 ○ 都道府県知事による営業の許可 等 | ○ 日本農林規格の制定 ○ 日本農林規格による格付 等 | ○ 基本方針の策定 ○ 国民健康・栄養調査の実施 ○ 市町村等による生活習慣相談及び保健指導の実施等 ○ 受動喫煙の防止 等 |

新法へ

〈講演資料ご希望の際のお問い合わせ先〉

株式会社ファイネット 営業推進部 【TEL】 03-5643-3450 【e-mail】 info@finet.co.jp

ファイネット ヘルプデスク便り

今回は、ファイネット ヘルプデスク（以下、ヘルプデスク）の主要業務でもある、エラー監視についてご紹介いたします。

エラー監視には大きく分けて、通信時に発生する「回線断監視」と、VAN受信後の振分処理時に発生する「振分エラー監視」があります。ヘルプデスクでは、通信状況をリアルタイムで監視し、問題解決に向けた技術支援を行っております。

■ 回線断監視

回線断監視とは、大きく分けて2種類の回線断があります。

(1)通信開始直後の回線断

通信設定に誤りがあった場合に通信が遮断され、エラーとなります。



(2)データ伝送中の回線断

何らかの原因で伝送中に回線断が発生した場合、エラーを検知します。

⇒(1)、(2)どちらのケースも、検知後に内容を確認のうえ、ユーザー様フォローを実施します。

■ 振分エラー監視

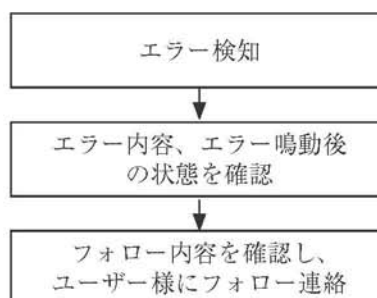
ファイネットでは、一般社団法人 日本加工食品卸協会（以下、日食協）のフォーマット^{※1}を採用し、卸店、メーカーは日食協フォーマットに従ってデータを作成、送信しております。振分エラーには大きく分けて(1)不正なデータを送信、(2)データ交換開始手続きがされていないデータを送信、の2種類があります。

⇒(1)、(2)どちらのケースも、送信先にデータは届かないが、送信元は伝送が正常終了しているため送信先に届いているという認識を持ちます。そのため、エラーとなったデータ

がVAN上で無効となっていることをヘルプデスクよりユーザー様へ連絡します。

■ エラー検知の対応（ユーザー様フォロー）

対応方法については、回線断、振分エラーとも以下の流れで行います。



回線断、振分エラーそれぞれの具体的な対応は、以下の通りです。

〈回線断〉

(1)通信開始直後の回線断

ユーザー様に回線断が発生したことを連絡し、通信設定に誤りがある部分を説明し、必要に応じて通信設定を変更して、再度通信していただくよう依頼します。



(2)データ伝送中の回線断

ユーザー様に回線断が発生したことを連絡し、必要に応じて、再度通信していただくよう依頼します。

〈振分エラー〉

(1)不正なデータを送信

ユーザー様に不正なデータにより振分エラーが発生したことを連絡し、データの確認を依頼します。必要に応じてエラーとなった箇所を修正し、再度通信していただくよう依頼します。

(2)データ交換開始手続きがされていないデータを送信

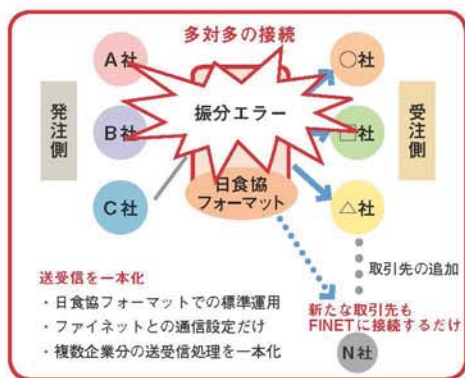
ユーザー様に、データ交換開始の手続きがされていないデータにより振分エラーが発生したことを連絡します。必要に応じて、データ交換開始手続きをしていただくよう依頼します。

※1：酒類食品業界卸店メーカー企業間標準システムのフォーマット

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社ファイネット 運用管理部

【TEL】 03-5643-3410 【e-mail】 unnyoukanri@finet.co.jp



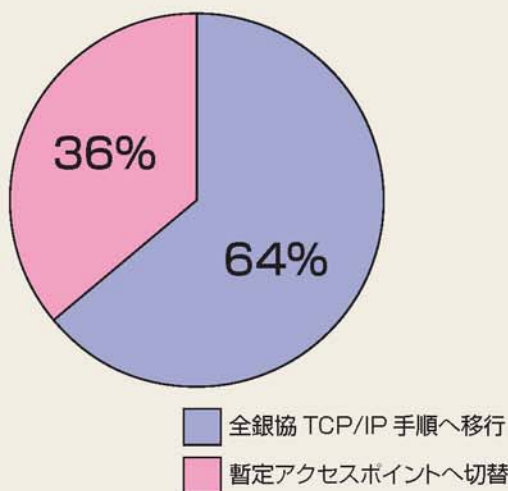
全銀協 TCP/IP 手順への移行状況！（最終報告）

通信手順の移行に際し、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

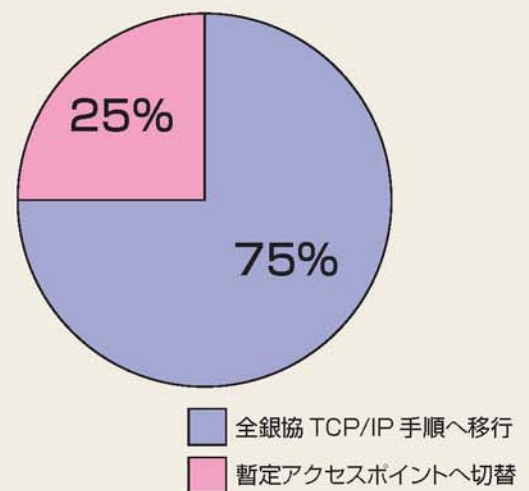
おかげさまで、6月末をもちましてユーザー様の「全銀協 TCP/IP 手順への移行」および「暫定アクセスポイント（JCA 手順・全銀協 BSC 手順）への切替」が完了いたしました。

つきましては、移行状況（最終報告）をお知らせいたします。

■移行状況（企業数比）



■移行状況（ステーション数比）



| | 企業 | | ステーション | |
|------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 件数 | 比率 (%) | 件数 | 比率 (%) |
| 全銀協 TCP/IP 手順へ移行 | 673 | 64% | 2,068 | 75% |
| 暫定アクセスポイントへ切替 | 373 | 36% | 682 | 25% |
| 合計 | 1,046 | 100% | 2,750 | 100% |

※2012年6月末（最終）調査

【暫定アクセスポイントご利用のユーザー様へ】

昨今のインターネット利用拡大に伴い、ほとんどの機器メーカーが従来の JCA 手順・全銀協 BSC 手順で必要となる通信機器（モデム等）の製造・保守を停止されております。

今後、通信設備維持が困難になることが予測されますので、引き続き全銀協 TCP/IP 手順への移行をお願いいたします。

※暫定アクセスポイントとは

全銀協 TCP/IP 手順への切替が困難なユーザー様向けに、暫定的に用意したアクセスポイント（東京・ナビダイヤル）となります。

◆本件に関するお問い合わせ◆

株式会社ファイネット 運用管理部

【TEL】 03-5643-3410 【e-mail】 unnyoukanri@finet.co.jp

「新ナビダイヤル番号」アクセスポイントについて

本号では、6月に新設しました「新ナビダイヤル番号」アクセスポイント（以下AP）についてご紹介いたします。このAPの特徴は、災害時（首都圏センターにてサービス継続可能な場合を想定）に、通信利用制限が行われてもセンター側で通信ルートを変更（迂回）することで、制限の回避が可能となったことです（下図参照）。これにより、ユーザー様側での接続先ダイヤル変更は不要となりました。

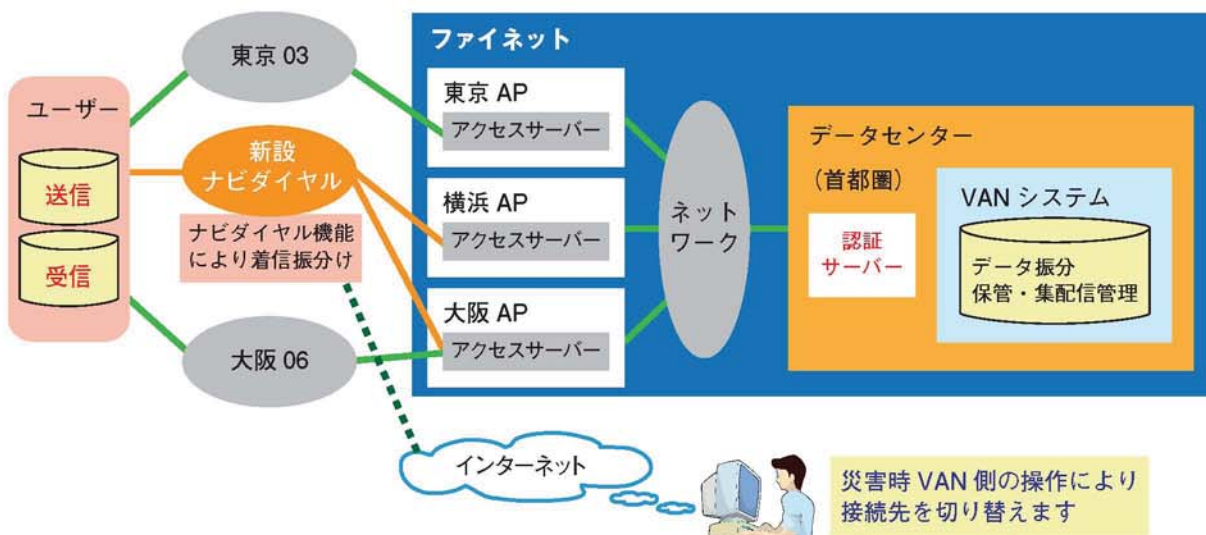
また、通信会社の協力を得てナビダイヤル利用料金（通信料としてNTTコミュニケーションズからご請求）の見直しを実施し、これまでの10円（税抜）/1分（全国一律）から8.5円（税抜）/3分（全国一律）とすることができました（全銀協TCP/IP手順のアクセス

ポイントのみ）。現在ご利用のアクセスポイントからは、接続先ダイヤル番号を変更していただくことで切替が可能です。ヘルプデスクにてダイヤル番号をご案内いたしますので、以下の〈お問い合わせ先〉までご連絡ください。書類等によるお申込みは必要ありません。

但し、首都圏センターでのサービス継続が困難となり、緊急避難システム（大阪）に切替を行った場合には、これまで同様に接続先ダイヤルの変更が必要となりますのでご注意ください。

〈お問い合わせ先〉
ファイネット ヘルプデスク（年中無休7:30～23:00）
☎0120-091-094

（運用管理部）



請求書の宛先等のご変更手続きについて

請求書の宛先や宛名のご変更に関する問い合わせが多数ございます。

請求書の宛先や宛名のご変更は、弊社Webサイトの「手続きサイト」にてお手続きいただいております。

操作方法やパスワード等がご不明の場合は、ファイネット ヘルプデスクにてご案内申し上げております。

是非、この紙面を請求書を受け取るご担当者様にご回覧いただければと存じます。

・「手続きサイト」URL <http://www.finet.co.jp/fts>
〈お問い合わせ先〉

ファイネット ヘルプデスク（年中無休7:30～23:00）
☎0120-091-094

（総務部）



FINE FINET (ファイン・ファイネット)

Vol.24 2012 Summer 2012年7月31日発行

【発行】(株)ファイネット 東京都中央区日本橋兜町13-2 偕成ビル(本館)7F 〒103-0026
Tel.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499

【編集・発行責任者】仲小路 啓之



<http://www.finet.co.jp>